

TAKAOKA アプリの「見守り機能」のサービスを開始します

1 趣旨

高齢者をはじめとする要支援者の見守りについて、ご家族、民生委員、近隣住民の負担軽減を図るため、TAKAOKA アプリを活用した「見守り機能」のサービスを開始します。民生委員・児童委員や支援者の方が、直接声をかけ合うことができない場合でも、見守ることができるほか、災害時の避難支援などにも活用します。（地域の支援員等を含めたアプリによる見守り支援は県内初の取り組み）

2 「見守り機能」の概要

- ・ 1 人の要支援者に対して 3 人まで見守り支援者として登録できます。
- ・ 要支援者が 3 日間「歩数更新」をしなければ、支援者にメールが届きます。
- ・ 支援者は G P S により要支援者の位置を確認できます。



3 「見守り機能」の利用方法

- ① 要支援者が見守りを希望する場合、避難行動要支援者申出カード（個別避難計画）を市へ提出します。（必須）
- ② 要支援者と支援者のスマホに健康マイレージアプリをインストールし、ホーム画面の「みまもり」をタップします。
- ③ 健康マイレージプラスアプリをインストールし、要支援者から支援者（ご家族、民生委員、近隣住民等）に「招待コード」を送ってアプリに入力してもらいます。
※利用料は無料（別途通信料はかかります。）

4 スマホを持たない方には

ご家族、民生委員、近隣住民と双方向でコミュニケーションできる「マゴコロボタン」を紹介し、見守り支援に取り組みます。（月額 200 円の利用者負担が発生します。）

5 今後の取り組み

地域の支援員等のなり手の負担を減らし、要支援者の災害時の避難計画である個別避難計画の作成を推進します。